

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立今福小学校

令和8年3月

(様式1)

大阪市立今福小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

1 はじめに

○ 大阪市教育振興基本計画の基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざす。

○ 令和5年度末に大阪市教育振興基本計画が見直されたことを受けて、令和6年度は本校の課題をより精選し、重点的に取り組むこととした。最終年度である令和7年度である本年は、令和6年度に重点的に取り組んだことをよりブラッシュアップしていく。

2 子どもたちの最善の利益のために

【安全・安心な教育の推進】

○これまでの家庭・地域・学校が協力して教育活動にあたってきた成果が出ている。

・令和6年度全国学力・学習状況調査では、

「学校に行くのは楽しいと思いますか」肯定的回答の割合：88.9% (令和5年度：92%)

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」最も肯定的な「思う」と回答する割合：77.8% (令和5年度：92%)

「自分にはよいところがありますか」肯定的回答の割合：66.7% (令和5年度：) 92%

令和5年度は、いずれも令和7年度の大阪市の目標をクリアしていたが、令和6年度結果では、

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的回答のみが目標をクリアする結果であった。

また、大阪市学力経年調査の結果(「2中期目標の達成に向けた年度目標」参照)

からも、年度や学年によって同様の質問での肯定的な数値が低く、課題が見られる部分もある。

自尊感情に関わる部分は昨年度がここ3年間で一番良い結果となっており、今年度も体験活動による豊かな心の育成に取り組むとともに、集団登校や縦割り班、異学年での活動等を多く取り入れることで自己有用感を高め、「自分にはよいところがある」ことをより実感できるようにする。

○「いじめ」や「不登校」の課題については、年3回の児童アンケート調査や「心の天気」による日常の児童観察、毎月の校内委員会での情報共有を通して、早期発見・早期解決につながる体制が構築されているが、引き続き、人権を尊重する教育を進め、安全・安心な教育環境の実現をめざす。不登校支援教室(スクールサポートルーム)の運用も開始し、一人ひとりに寄り添った教育を推進していく。

○本校には支援を要する児童が多く在籍していることから、引き続き、インクルーシブ教育の充実と推進に向け、合理的配慮に基づく学習環境の整備を進める。また、令和10年度から通級指導教室が開設されることを踏まえ、保護者とも連携しながら、準備を進めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 本校は「学力向上支援チーム事業」重点支援校として、スクールアドバイザーによる授業力向上への支援を得ながら、国語を中心とした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組を3年間実施してきた。

令和7年度については、国語科に限らず、様々な教科・領域において、すべての学習の基盤となる言語能力の育成を継続して行い、自分の考えを持ち、表現する時間をしっかりと取り、友だちの考えと自分の考えを比べて共通点や異なる点を見つけていく活動や、様々な視点から自分の考えをよりまとめていく活動を取り入れるよう授業改善を行う。
- 基礎・基本の学習を積み重ねていき、自分に合った目標をもってデジタルドリルに取り組んだり、漢字検定にチャレンジしたりするなど意欲をもって学習できるような環境を整えていく。
- 学習者端末を持ち帰りや自主学習ノートの使用、夕方スペシャル教室の取組みを通じて自ら学習する姿勢を身につけられるようにする。
- 外国語（英語）については、中学校の学習内容が小学校に下りてきている現状を踏まえ、1年生から6年生までモジュール学習を確実にし、また外部講師を招く機会も確保し、意欲的に学習できる環境を作っていく。
- 体育科の授業改善については、経年調査の結果からもわかるように本校の児童は、運動することは非常に好きである。その好きな部分をより伸ばし、自己肯定感の向上につなげていきたい。大阪市体育部などの協力を得ながら、体育実技研修会を行っていく。
- 総合的読解力育成カリキュラムの本格的実施を踏まえ、3～6年生は週1時間「総読」を時間割に位置付けて取り組む。テキストにある思考ツールを活用して自分の考えをアウトプットしたり、他者と意見を交流し考えを深めたりするスキルを育成していく。

【学びを支える教育環境の充実】

- 教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進のため、「令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。」という目標達成に向けた取組を進めていく。

学校での学習指導場面だけではなく、家庭での学習や、学習者端末での図書の閲覧など、ICTの効果的な活用について進めていく。
- 教員の長時間勤務については、本校は教職員の努力と保護者・地域の協力のもと令和7年度目標を達成している状況であるが、今後、学校環境整備に関する業務の追加も予想される。

さらなる業務の効率化や均等化を図り、より児童に関わる時間を確保し、授業の改善につなげていけるようにしていく。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は令和6年度：75.2%、令和5年度：71.6%、令和4年度：79.6%と、令和7年度目標の76.5%を達成できる水準にある。ただし、貸出冊数となると、令和7年度目標の38冊に対して、令和6年度：23.5冊、令和5年度23.5冊と変化が見られない。より児童が本を手取る機会を増やせるように、電子書籍サービスの活用推進に加え、ブックトラックを活用した学級図書の充実を図る取組を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和6年度：88.9%↑ 令和5年度：92%↑ 令和4年度：95.7%↑)
- 2 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(令和6年度：77.8%↓ 令和5年度：92%↑ 令和4年度：100%↑)
- 3 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和6年度：66.7%↓ 令和5年度：92%↑ 令和4年度：91.3%↑)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。(令和6年度：11.1%↓ 令和5年度：40% 令和4年度：47.8%)
- 2 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を65%以上にする。(令和6年度：83.3%↑ 令和5年度：57.6%↓ 令和4年度：59.3%↓)
- 3 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62.6%以上にする。(令和6年度：87.5%↑ 令和5年度：55%↓ 令和4年度：72%↑)

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(令和6年度：2.8%↓)
- 2 令和7年度の教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を56.4%以上にする。(令和6年度：94.1% 令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%)
※基準1：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下
- 3 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76.5%以上にする。(令和6年度：75.2%↓ 令和5年度：71.6%↓ 令和4年度：79.6%↑)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**90%**以上にする。【中期：85%】令和7年度 **88.8%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	88.9%	94.1%	87.5%	88.9%	89.7%↑
令和5年度	88.9%	83.3%	72.2%	96.0%	85.9%↑
令和4年度	91.3%	79.0%	95.8%	86.4%	88.7%↑

- 2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を**90%**以上にする。

【中期：90%】令和7年度 **66.7%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	83.3%	88.2%	83.3%	66.7%	80.6%↓
令和5年度	83.3%	91.7%	72.2%	84.0%	83.5%↓
令和4年度	87.0%	78.9%	83.3%	90.9%	85.2%↓

- 3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**81%**以上にする。【中期：77%】令和7年度 **77.8%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	77.8%	88.2%	79.2%	77.8%	80.6%↑
令和5年度	77.7%	70.9%	66.7%	88.0%	76.5%↓
令和4年度	86.9%	63.2%	75.0%	81.8%	78.9%↑

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を**50%**以上にする。【中期：35%】令和7年度 **33.3%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	61.1%	64.7%	45.8%	27.6%	49.5%↑
令和5年度	66.7%	41.7%	27.8%	36.0%	42.4%↑
令和4年度	52.2%	26.3%	41.7%	50.0%	36.1%↑

- 2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を**87%**以上にする。【中期：65%】令和7年度 **88.9%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	100%	94.1%	75.0%	77.8%	86.7%↑
令和5年度	88.9%	41.7%	44.4%	60.0%	57.6%↓
令和4年度	73.9%	63.2%	70.8%	27.3%	59.3%↓

3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。

【中期：62.6%】令和7年度 88.9%

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	77.8%	64.7%	70.8%	50.0%	66.2%↑
令和5年度	77.8%	83.3%	66.7%	76.0%	76.5%↑
令和4年度	78.3%	63.2%	83.3%	77.3%	76.2%↑

【学びを支える教育環境の充実】

1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(令和6年度：2.8%)

2 教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95%以上にする。(令和6年度：94.1% 令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%)【中期：56.4%】

※基準1：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。【中期：76.5%】令和7年度 66.7%

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	87.8%	64.7%	75.0%	83.3%	77.8%↑
令和5年度	88.9%	70.8%	66.7%	60.0%	71.6%↓
令和4年度	82.6%	78.9%	75.0%	81.8%	79.6%↑

※ 年度目標値については、前年度以上かつ中期目標以上に設定

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【中期：85%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	88.9%	94.1%	87.5%	88.9%	89.7%↑
令和5年度	88.9%	83.3%	72.2%	96.0%	85.9%↑
令和4年度	91.3%	79.0%	95.8%	86.4%	88.7%↑

・令和7年度は、88.8%で、中期目標である85%を超える結果であった。本校については、これまでの4年間に渡って85%以上を継続的に達成できている。教職員の日々の肯定的な声かけなど、取組がこの結果に結びついていると考える。

2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。【90%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	83.3%	88.2%	83.3%	66.7%	80.6%↓
令和5年度	83.3%	91.7%	72.2%	84.0%	83.5%↓
令和4年度	87.0%	78.9%	83.3%	90.9%	85.2%↓

・令和7年度は、66.7%と、この4年間で最低の数値となった。過去3年間は80%以上であったことを踏まえると今年度大きく数値を下げた。12月の児童アンケート結果(全学年)では86%であったが、基本的に学年が上がるごとに数値は下がる傾向はあるにしろ、この結果を踏まえ、今後も安心して登校できる環境を整備する必要がある。高学年を中心に不登校気味な児童も存在するので、担任に任せるとはせず全教職員が課題を共有して取り組みを進めていく。

3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。【中期：77%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	77.8%	88.2%	79.2%	77.8%	80.6%↑
令和5年度	77.7%	70.9%	66.7%	88.0%	76.5%↓
令和4年度	86.9%	63.2%	75.0%	81.8%	78.9%↑

・令和7年度は77.8%と、中期目標を達成した。この4年間76%~80%で推移しており、今年度も同水準の結果となった。自己肯定感の向上を意識した児童との関わりを全教職員が協働した結果と考えている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。【中期：35%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	61.1%	64.7%	45.8%	27.6%	49.5%↑
令和5年度	66.7%	41.7%	27.8%	36.0%	42.4%↑
令和4年度	52.2%	26.3%	41.7%	50.0%	36.1%↑

・令和7年度は33.3%と、中期目標を1.7ポイント下回る結果となった。この4年間でも最低の結果となった。校内研究で「話し合い活動の充実」に焦点を当てて取り組んできて、昨年度までその成果が出ていたが、今年度については大きく数値を下げる結果となった。来年度に向けても、この結果を踏まえて、児童が、自分の考えを広げたり、深めたりできる指導方法や手立てを継続して研究していく。

2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を **87%**以上にする。【中期：65%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	100%	94.1%	75.0%	77.8%	86.7%↑
令和5年度	88.9%	41.7%	44.4%	60.0%	57.6%↓
令和4年度	73.9%	63.2%	70.8%	27.3%	59.3%↓

・令和7年度は88.9%と、中期目標の65%を大きく上回る結果となった。昨年度より専科担当による授業となり、C-NETと協働して楽しい授業づくりを行った結果であると考え。

3 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **77%**以上にする。

【中期：62.6%】 **令和7年度 88.9%**

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	77.8%	64.7%	70.8%	50.0%	66.2%↑
令和5年度	77.8%	83.3%	66.7%	76.0%	76.5%↑
令和4年度	78.3%	63.2%	83.3%	77.3%	76.2%↑

・令和7年度は88.9%と、この4年間で最高の数値であり、中期目標も大きく上回る結果となった。教職員が楽しい授業を目指して、自主的に研鑽したり、研修に参加したりした成果が出たと考える。

【学びを支える教育環境の充実】

1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の **50%**以上にする。（令和6年度：2.8%）

・1月までの結果として、24.8%で、中期目標の50%には至らなかった。昨年度の2.8%と比較すると大きく活用率は上昇している。心の天気の入力や授業での端末活用は進んできているが、8割以上となると、より一層家庭での活用も必要になってくる。

2 教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を **95%**以上にする。（令和6年度：94.1% 令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%）【中期：56.4%】

※基準1：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

・2月末までの結果として88.9%と、中期目標は大きく達成している。ただし、人数にして2人となり教頭含め、業務分担をより進める必要がある。

3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。【中期：76.5%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和6年度	87.8%	64.7%	75.0%	83.3%	77.8%↑
令和5年度	88.9%	70.8%	66.7%	60.0%	71.6%↓
令和4年度	82.6%	78.9%	75.0%	81.8%	79.6%↑

・令和7年度は66.7%と、中期目標を10ポイント下回る結果となった。ブックトラックを活用した貸し出し冊数の増加などで本に触れる機会は増えてはいるが、本好きには至っていない。

※ 年度目標値については、前年度以上かつ中期目標以上に設定

(様式2)

大阪市立今福小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <p>豊かな心を育成し、自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。</p>	A
<p>指標 年度末児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。</p>	C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・年度末児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。・年度末児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。	
<p>中期目標及び令和7年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>☆取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <p>豊かな心を育成し、自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。</p> <p>○指標：『年度末児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、87%と年度末目標を6%上回った。</p> <p>中期目標については、令和7年度は77.8%と、中期目標を達成した。</p>	

○取組の進捗状況（校長経営戦略予算中心に）

- 6月 6日（金）芸術鑑賞（影絵）
- 6月12日（木）田植え体験（5年）
- 6月30日（月）弁護士による SNS 講座（5・6年 区役所事業活用）
- 9月 9日（火）読書活動（お話の会）（全学年）
- 9月22日（月）トップアスリート（走り高跳び）による夢授業（5・6年）
- 10月 9日（木）米作り稲刈り体験（5年生）
- 10月28日（火）韓国・朝鮮の文化体験（2・4・5年生）
- 10月28日（火）こころの劇場ミュージカル鑑賞（6年生）
- 11月18日（火）盲導犬学習（3年生）
- 11月20日（木）茶道体験（4年生）
- 1月26日（月）キッザニア甲子園卒業遠足（6年生）
- 2月13日（金）プログラミング体験（4年生）地域事業

※5月に万博見学があり、通常春に実施していた遠足については秋に実施できるものは行い、社会見学についても、10月後半から11月中旬にかけて実施し、体験的学習の確保に努めた。

☆取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】

一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。

○指標：

・『年度末児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **90%**以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、**85%**と年度末目標を5%下回った。

中期目標については、88.8%で、中期目標である85%を超える結果であった。

・『年度末児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **90%**以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、**86%**と年度末目標を4%下回った。

中期目標については、66.7%と、この4年間で最低の数値となり、目標の90%も未達であった。

○取組の進捗状況

・いじめについては、いじめについて考える日（5月）に校長講話、心の天気、スクールライフノートの入力について児童に説明を行った。また、5・6年生に対して、7月に弁護士による SNS 講座を行い、どのような行為がいじめにつながっていくか学ぶ機会を設けた。

・心の天気については、担任を中心とした取組の成果として、ほぼ80%を超える児童が毎日入力するようになってきた。スクールライフノートの相談機能での相談はこれまで0である。

・不登校対応で設置したスペシャルサポートルームの活用状況については、6年女児1名が毎日利用している。5年生女児3名、4年生女児2名、男児1名、1年生女児1名が欠席が増えたり、遅刻が増えたりする状況である。学びを止めないように、教室以外の特別支援教室等での学習を行う形で対応している。

・教職員の共通理解促進については、週1回の職員朝会、月1回の校内委員会だけではなく、校内掲示板を活用して、その日その時に全教職員に連絡できるようにしている。対応記録としても、ICTの活用を進めている。

次年度への改善点

<p>☆取組内容①【2 豊かな心の育成】 豊かな心を育成し、自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆様の協力を得ながら、体験活動の充実が図れた成果が、高い自己肯定感につながった。 ・2月に今福下水処理場を4年生が社会科の学習で見学した。タカスタンダードなど身近にある施設を活用しながら、今後も児童の体験活動を充実させていく予定である。 <p>☆取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】 一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの指標ともに目標を下回った。 ・いじめについての認識については、まだ徹底できていない部分もあり、来年度も弁護士など外部機関による講座も活用しながら、学校全体でいじめを認めない環境を醸成させていく。 ・不登校とまでいかなくても、学校に楽しく通えていない児童の存在はある。理由については、友人関係や、音が気になる、勉強がついていけない、など児童それぞれによって異なる。 <p>スペシャルサポートルームの運用についても部屋の場所の変更（図書室を区切って活用）や、人の配置方法など今年度の反省を生かして春休み中に準備を進め、児童が安心して登校できる環境を整えていく。</p>	
年度目標	達成 状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <p>2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする</p> <p>3 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を進める。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	C
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】 全学年で、児童がより英語に親しめるように、モジュール学習の充実や外部講師を招いた学習を増やすなどして英語活動の取組を進める。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】 体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。</p>	A

指標 年度末児童アンケートにおける「運動(体を動かす遊び・を含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。

中期目標及び令和7年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を進める。

指標：『年度末児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、42%と年度末目標を8%下回った。

中期目標については、33.3%と、中期目標を1.7ポイント下回る結果となった。

取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】

全学年で、児童がより英語に親しめるように、モジュール学習の充実や外部講師を招いた学習を増やすなどして英語活動の取組を進める。

指標：『年度末児童アンケートにおける「外国語(英語)の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、84%と年度末目標を3%下回った。

経年調査結果で令和4年度(59.3%)令和5年度(57.6%)から令和6年度(86.7%)に急激に上昇した経緯があり、今回の83%は中期目標の65%を大きく超えている状況である。

中期目標については、88.9%と、中期目標の65%を大きく上回る結果となった。

取組内容③【5 健やかな体の育成】

体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。

指標：『年度末児童アンケートにおける「運動(体を動かす遊び・を含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、81%と年度末目標を4%上回った。

中期目標については88.9%と、中期目標の77%を大きく上回る結果となった。

1学期はプール実技研修会を実施した。2学期12月に1.2年生で器械運動遊びの校長による示範授業、2月に6年生において体づくり運動の校長による示範授業を行った。また、校外の公開授業に若手教員を中心に参加して、指導技術向上を図った。

次年度への改善点

取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を進める。

・話し合い活動については、研究主題にもあわせて取り組んできた。自分の考えを持ち、相手に伝える、話を聞くことについてはできるようになってきてはいるが、それを聞いて自分の考えを広げたり、深めたりするレベルまでは至っていない。今後も継続した取組を通じて、そのレベルまで到達できるようにしていく。

・外国語活動については、目標は下回ったものの、中期目標の65%を大きく超えている状況である。昨年度から担当者の創意工夫による外国語が楽しいと思えるこの流れを来年度も継続できるように、担当者の引継ぎを含めしっかりと継承していく。

取組内容③【5 健やかな体の育成】

体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。

・81%の児童が、「好き」と答える状況まで上げることができた。教員の様子からも、体育科授

業に対して真摯に教材研究を行い、児童の実態に合わせて授業づくりを行ってきた成果である。とはいえ、まだ20%近くの児童が「好き」に至っていない現実があり、今後も教員の校外での学び、校内での学びを深める機会を設定し、よりよい体育科授業の実現に向けて進んでいく。	
年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p> <p>2 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を95%以上にする。 ※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下</p> <p>3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>心の天気による児童理解や授業や家庭での学習等において、学習者端末の効果的な活用について研究する。</p> <hr/> <p>指標 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p>	C
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。</p> <hr/> <p>指標 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を95%以上にする。</p>	C
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、読書への関心を高める取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p>	A

中期目標及び令和7年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>心の天気による児童理解や授業や家庭での学習等において、学習者端末の効果的な活用について研究する。</p> <p>指標：『授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以</p>

上にする。』の目標に対する9月末までの結果については、5月（5%）6月（23.8%）7月（46.2%）9月（60%）と徐々に達成率が向上してきたが、10月（23.8%）11月（11.8%）12月（28.6%）で伸びはなかった。

中期目標については、24.8%で、中期目標の50%には至らなかった。

教員の声掛けが功を奏し、心の天気を入力することが習慣化されてきたが、8割以上の利用には至っていない。

取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。

指標：『教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を95%以上にする。』という目標に対し、88.9%と6%下回る結果となっている。（中期目標も同じ）学年チーム制の導入や低学年からの専科制など教員の負担軽減が図られてきているが、より一層の働き方改革の推進を進めるために、業務の見直しを下半期進めていく。

取組内容②【8 生涯学習の支援】

図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、読書への関心を高める取り組みを進める。

指標：『年度末児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。』の目標に対する12月度児童アンケート結果は、84%で目標を6ポイント上回る結果となった。

中期目標については66.7%と、中期目標を10ポイント下回る結果となった。

1月末までの総貸出冊数は3,321冊となっており、一人当たり36.9冊（児童数90名）となる。昨年度の23.5冊から大幅な上昇であるとともに、大阪市教育振興基本計画の令和7年度末目標は38冊であり、達成率は97.1%となっている。図書館司書による読み聞かせの実施や、ブックトラックの活用による学級文庫の充実、継続的な委員会活動の成果が出ている。

次年度への改善点

取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。

基準Ⅰを満たしていない教員は、2人となった（令和6年度1人）。この結果を踏まえて、来年度さらに業務改善に向けて取組を進めていきたい。若手教員の時間外労働時間が長くなる傾向にあるので、校務分掌の配分など経験値の高い教員と調整し、若手教員が教材に向かう時間を確保しつつ、時間外労働時間を減少させていく。また、休憩時間の確保についても継続して取得できるように一人当たりの授業時間数や校務分掌の平準化の取組を進めていく。

取組内容②【8 生涯学習の支援】

図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、読書への関心を高める取り組みを進める。

- ・読書への肯定的な回答率と、貸出冊数2種の指標を達成見込みである。
 - ・ブックトラックを活用した学級文庫の充実が大きく寄与したと考えられる。（クラス貸し出し冊数は、1,622冊（1月末）個人貸出冊数は、1,699冊であった。
- 電子書籍の活用状況について、伸びておらず来年度は打ち切る予定である。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立今福小学校学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。小学校学力経年調査や児童・保護者アンケートの結果から、学校が丁寧な教育活動を行っていることが伺える。特に「体力」「読書」の面で児童の意欲的な姿勢が見られ、改善している。しかし一方で、「一人一台端末の活用」に課題があり、引き続き、組織的な取組が必要である。

2 中期目標及び年度目標(全市共通・学校園)ごとの評価

<p>年度目標:安全・安心な教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」について、中期目標については、88.8%で、中期目標である85%を超える結果であったことから、児童が楽しく通っている実情は評価できる。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、年度目標も中期目標も未達となっている。取組自体は行っているが、児童が「絶対にダメである」ところまで至っていない実情を踏まえ、さらなる取組の強化が求められる。 ・「自分にはよいところがあると思いますか」については、年度目標も中期目標も達成している。肯定的な声かけや、異学年との活動を増やすことで自己有能感を高める施策が効果的であった。
<p>年度目標:未来を切り拓く学力・体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」は、年度目標も中期目標も未達となった。研究としての取組は進めているが、児童の実感としてはそこまで達していない。この点を来年度は改善するほうがよい。 ・「外国語(英語)の勉強は好きですか」については、中期目標を大きく上回る結果となり、専科担当の頑張りを評価できる。 ・「運動(体を動かす遊び・を含む)やスポーツをすることは好きですか」も中期目標を上回る結果となり、指導者の工夫が評価できる。 <p>経年調査結果も、6年生が大阪市結果を超え、その他の学年も市平均に迫る結果が出ており、教職員の頑張りを評価したい。</p>
<p>年度目標:学びを支える教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。」については、中期目標を未達であったが、昨年度からも伸びは評価できる。 ・「教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95%以上にする。」も中期目標を大きく上回る結果となったが、実情を踏まえ、業務の適正な配置については継続していくべきである。 ・「読書は好きですか」については、児童アンケートは達成、経年調査は未達という結果であり、高学年になるにつれて読書への意識は薄くなる傾向になる。貸し出し冊数が増えたことはよかった。

3 今後の学校園の運営についての意見

統合まで3年となる。学校行事についてより地域と協働する形を模索していただいたい。

